

事業計画書



事業名	八ヶ崎の森再生整備事業
団体名	松戸里やま応援団 一起の会

1. 事業目的と課題の現状及びその効果

一起の会の主要活動フィールドである八ヶ崎の森は、住宅・警察・消防訓練施設に囲まれた約 9,000 m²の都市樹林地で松戸市指定の保護樹林でもある。5 年間にわたる整備活動で、自然観察や森で楽しめる環境づくりをすすめ、児童・近隣住民にも親しまれるようになった。

最近近隣から日照・落ち葉飛来・景観等での苦情が相次ぐようになり、地権者と住民が交渉し、昨年 11 月業者の手で住宅隣接地域の樹木が大きく伐採され、斜面林部分の大半が丸坊主になってしまった。伐採樹木の丸太処理も不十分で枝葉も残されており、復旧や防災対策が急がれる現状である。

整備管理活動する私達を抜きにした伐採であったが、地権者は「森として残す」意向であり、森の再生整備に協力することとし、地権者・地域住民に納得いただける「森の再生」に取り組むことにした。実施に当たっては、苗木の植栽等地域住民の参加で理解親睦を深めるとともに、完成後も児童・地域住民の自然観察や森の中でのイベントなどで地域の憩いの場として親しまれる森を実現する。

2. 申請理由

都市樹林を守っていくには、地権者・近隣住民の相互理解そして森の整備管理活動が大切である。

一起の会は 5 年間森を整備しながら、地権者の理解を得るとともに地域住民にも枝木処理・道路清掃などのボランティア活動を通し理解をいただいております。今回の森の再生計画では私達がパイプ役として欠かせない。

今回の事業に関し地権者の負担もあるが、植栽の花木調達等で独自性を出すためにも資金を必要とするため、市の助成金制度を活用申請するものです。

3. 事業の内容、実施方法、スケジュール

今回の森の再生整備は 2 年以上の期間を要するもので、初年度に土留め対策や場内の丸太・枝木の処理を行い（地こしらえ）、翌年度から苗木の移植や花木の購入植栽と遊歩道整備にかかる。植栽に当たっては近隣住民や学園児童にも声をかけるイベントとし、地域に親近感を持っていただくとともに「一起の会」だけでなく、松戸里やま応援団グループ全体に協力をお願いし、ボランティア活動が地域に根付くようにしていく。

整備後も地域に親しまれ、森を活用してもらうためのイベントなど住民の意見・市の指導などを仰ぐ。

4. 事業成果の活用と将来展望

都市樹林地はみどりを提供し温暖化防止や憩いの場としての効用が理解されている半面、落ち葉飛来や日照問題、手入れ不十分で景観（暗く鬱蒼としている）を損なうなどへの抵抗がある。今回の伐採地再生整備計画を実現し継続して管理整備することで、明るく親近感の持てる森の一面をお示しすることが出来る。

地域に親しまれる森を目指し、整備事業に近隣住民・児童も参加してもらったり、森の観察会などイベントを多くすることで失われていく「緑の貴重さ」をご理解いただける一助とする。

事業の予算計画書

【収入】

	(自己資金)	金額	積算内訳
申請者	繰越金	67,000円	繰越金、物品販売等から充当 1,500円/年×20人
	年会費	30,000円	
	自己資金合計(a)	97,000円	
市	助成金申請額(b)	100,000円	
	収入合計(c)(a+b)	197,000円	

【助成金申請額(b)チェック項目】

1. 対象となる経費(d)欄の90%以内
2. 1事業あたり10万円以内

【支出】

	項目	金額	積算内訳
交付対象経費	ボランティア保険	12,000円	600円/年×20人
	花、苗木および肥料購入	100,000円	低木苗木50,000 花種5,000 肥料45,000円
	植樹イベント費用	30,000円	チラシ5、手袋2、保安帽20 飲み物3千円
	対象となる経費合計額(d)	142,000円	
その他	遊歩道設置杭およびロープ	40,000円	杭500円×100本、ロープ @100×300mのうち当期使用
	器具賃借料	15,000円	チェーンソー、フェンダー、発電機 刈り払い機等一式
	その他経費合計額(e)	55,000円	
	事業費(f)(d+e)	197,000円	

※ 対象となる経費、対象とならない経費については、募集要項を参考にして下さい。